

仏説阿彌陀經

また舎利弗かの仏の国土には常に天樂
を作す黄金を地とせり 晝夜六時に曼
陀羅華を雨らすその国の衆生常に清旦
をもつて各おの衣衾をもつて衆もろの
妙華を盛りて他方十万億の仏を供養す
すなわち食時をもつて還つて本国に到
つて飯食し経行す 舎利弗極楽国土に
はかくのごときのご功德莊嚴を成就せり
また次に舎利弗かの国には常に種種奇
妙なる雑色の鳥あり白鶴孔雀鸚鵡舎利
迦陵頻伽共命の鳥なりこの諸衆の鳥晝
夜六時に和雅の音を出だすその音五根
五力七菩提分八聖道分かくのごとき等
の法を演暢す その土の衆生この音を
聞きおわつて皆悉く仏を念じ法を念じ
僧を念す 舎利弗汝この鳥は実にこれ
罪報の所生なりと謂うことなかれ所以
は何んかの仏の国土には三悪趣なし

為

令和 年 月 日

淨写